



# 企業の生物多様性保全の取組についての勉強会 (地域循環共生圏構築に向けた自然資本活用に関する意見交換会)

## 自然共生サイトの事例紹介 株式会社テクノ中部 本店ビル屋上ビオトープ

中部電力グループ

会社名	株式会社テクノ中部（中部電力グループ）
従業員数	719名（2023年4月1日現在）
事業内容	火力事業、原子力事業、環境事業
営業種目	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 発電設備、燃料設備、廃棄物処理設備、環境設備及びガス供給設備の工事、運転、保守及び管理</li><li>■ 揚油及び揚液等の燃料関連業務</li><li>■ 貨物利用運送業、海上運送業、通関業及び船舶代理店業</li><li>■ 放射線管理並びに放射性廃棄物の処理及び検査に関する事業</li><li>■ <u>環境調査、測定及び分析事業並びに環境影響評価事業</u></li></ul> ・・・など

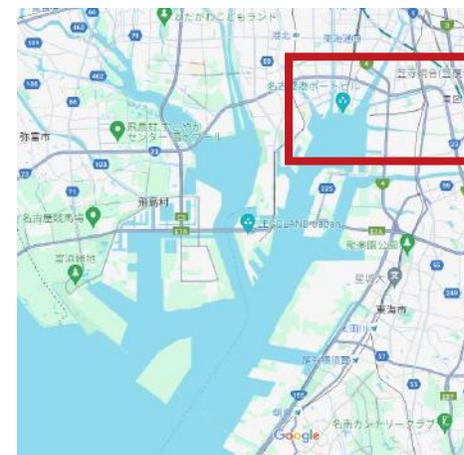
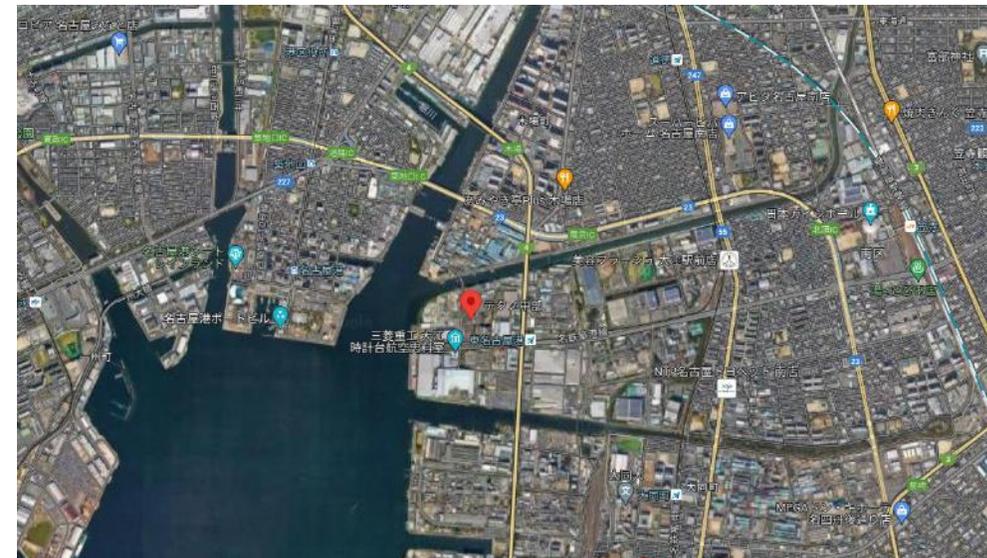
- 環境アセスメント（環境影響評価）手続き
  - 生物調査（現地調査）
  - 生物生息環境の解析・生態系の構造把握
  - DNA分析、環境DNA分析
  - 生物多様性などにかかわる環境保全対策の提案
  - 自然共生のための工場緑化提案
  - 騒音・振動等の測定、水質・土壌等の分析
  - 環境教育
- ・・・など



## 関連するSDGsの目標



# テクノ中部 本店ビル屋上ビオトープ



- 整備年 1998年  
! 祝・25周年!
- 面積 約180m<sup>2</sup>  
(約0.02ha)

右上・右下の図は  
Google mapより引用

## 里山の風景をモデルに「都市環境での自然性の回復」を図る

- 多様な生物が生息できる緑地を整備
- 水田環境の再現（水稻栽培も実施）
- 動植物の観察の場として活用
- 社員の憩いの場としても活用



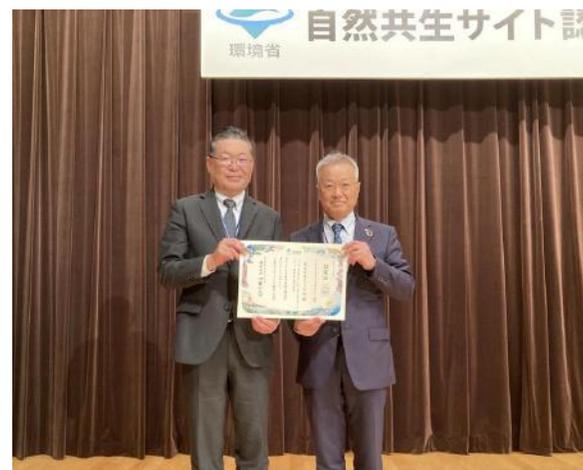
# 生物多様性に関する認定



- 2022年 あいち生物多様性企業認証制度※1「優良認証」に認定
- 2023年 環境省の「自然共生サイト※2」に認定



認証式の様子(2022年11月14日)



認定証授与式の様子(2023年10月25日)

※1 企業の生物多様性保全に関する取り組み意欲の醸成と優良な取り組みが県内に広がることを目指して愛知県が令和4年度に創設。2023年4月現在、優良認証企業15社、認証企業25社。

※2 民間の取組等により生物多様性の保全に貢献している区域を「自然共生サイト」として認定する仕組み。令和5年度前期分として35都道府県122か所が認定された。

# 価値その1 生態系サービスの提供の場

## 供給サービス

- 稲作の実施によるもち米等の供給（社内の鏡餅に利用）



## 調整サービス

- 水場や樹木の日陰による、周辺気温の上昇を抑制

## 文化的サービス

- 従業員への稲作体験
- 癒しの空間を提供
- 従業員・地域の環境教育に活用



## ウシモツゴの域外保全（2019年～）

### 中部大学第一高等学校 科学部 との連携活動

- 当社ビオトープにて、ウシモツゴ放流に向けた環境整備を実施
- 先生と生徒、計20名が参加。同校で飼育・繁殖させた24匹（成魚11匹、稚魚13匹）を放流
- 定期的なモニタリングの実施



### ウシモツゴ

- 濃尾平野のため池等に生息するコイ科の淡水魚で、ため池の改修等で激減
- 環境省レッドリストの絶滅危惧 I A類、愛知県レッドリストの絶滅危惧 I A類、愛知県条例に基づく「希少野生動植物種」

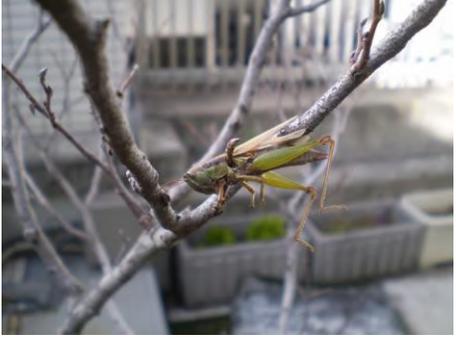
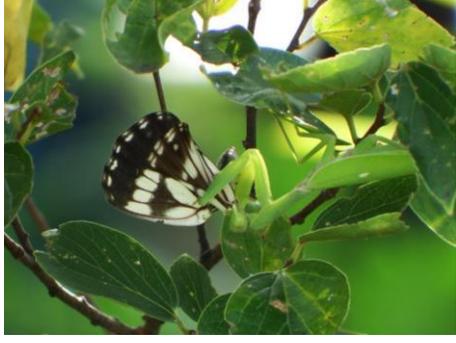


# 価値その3 地域の動物の生活史にとって重要な場

確認種数（導入種・自然飛来種の合計）			
動物	40科	51種	植物 75科 157種

主な生息・生育種	
【植物】	ベニシダ、マツモ、シデコブシ、ネジバナ、スズメノヤリ、 <b>カンガレイ</b> 、ヌカボ、チガヤ、 <b>ゲンゲ</b> 、 <b>アズキナシ</b> 、 <b>エノキ</b> 、ヤブマオ、 <b>ミカン</b> 、ミゾソバ、 <b>ソヨゴ</b> 、ヨモギ、 <b>セリ</b> 等
【鳥類】	キジバト、ヒヨドリ、カワラヒワ、スズメ、イソヒヨドリ、ジョウビタキ、モズ、メジロ、シジュウカラ 等
【昆虫類】	オンブバッタ、エゾイナゴ、アオモンイトトンボ、ナミアゲハ、ゴマダラチョウ、ハラビロカマキリ 等
【爬虫類・両生類】	ニホンヤモリ、 <b>トノサマガエル</b>
【魚類】	<b>メダカ</b> 、 <b>ドジョウ</b> 、 <b>カワバタモロコ</b> 、 <b>ウシモツゴ</b> 等
【貝類】	<b>カワナナ</b> 、 <b>マルタニシ</b> 、 <b>モノアラガイ</b> 等
【エビ類】	<b>ミナミヌマエビ</b> 等

※ **赤字**は導入を実施した種



# モニタリング計画

## モニタリング対象

- 動植物相、ウシモツゴ

## モニタリング場所

- ビオトープ全体

## 【モニタリング手法】

- 目視及び捕獲調査

## 【実施時期及び頻度】

- 動植物相調査：3年に1度  
（鳥類、魚類、昆虫類、両生類、爬虫類、植物（維管束植物のみ））
- ウシモツゴ：2023～2026年は毎年実施し、それ以降は3年に一度実施



